

平成30年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市東大宮コミュニティセンター外4施設
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市見沼区東大宮4丁目31番地1(さいたま市東大宮コミュニティセンター) さいたま市見沼区大字大谷1210番地(さいたま市七里コミュニティセンター) さいたま市見沼区染谷3丁目147番地1(さいたま市片柳コミュニティセンター) さいたま市大宮区高鼻町2丁目292番地1(さいたま市高鼻コミュニティセンター) さいたま市大宮区堀の内町1丁目577番地3(さいたま市大宮工房館)</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要 (さいたま市東大宮コミュニティセンター) 【開館】昭和57年9月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建 【敷地面積】2,020.52㎡ 【延床面積】3,604.53㎡ 【主要施設】ホール(定員200名)、体育室(定員174名)</p> <p>(さいたま市七里コミュニティセンター) 【開館】平成12年4月10日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】2,448.08㎡ 【延床面積】2,127.82㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員220名)、第1集会室(定員18名)</p> <p>(さいたま市片柳コミュニティセンター) 【開館】平成18年4月1日 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 【敷地面積】8,967.98㎡ 【延床面積】5,211.35㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員400名)、多目的ルーム(定員163名)</p> <p>(さいたま市高鼻コミュニティセンター) 【開館】昭和48年6月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 【敷地面積】1,105.81㎡ 【延床面積】2,010.12㎡ 【主要施設】大会議室(定員120名)、視聴覚室(定員40名)</p> <p>(さいたま市大宮工房館) 【開館】平成10年5月11日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】1,240.34㎡ 【延床面積】1,691.90㎡ 【主要施設】第1ワークスタジオ(定員25名)、アトリエ(定員20名)</p>
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団

(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成28年度233,877千円、平成29年度233,877千円、平成30年度231,159千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 337,250人(前年度333,388人) ・利用率43.5%(前年度43.1%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸し出し <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施 <p>③その他(自主事業等)</p> <p>【自主事業(さいたま市東大宮コミュニティセンター外4施設)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相続関連講座(30)、夏休み親子パンづくり講座(19)、アクティブエイジング講座(20)、認知症サポーター養成講座(20)、ラッピングコーディネーター講座(12)、大宮工房館・高鼻コミセンコラボ～自分で作るお皿とカップで手作りスイーツ講座(5) ※()内の数字は参加者数 ・その他、5館連携事業「笑顔の輪写真展」(東大宮、七里、片柳、高鼻、工房館)、3館協働「地域の児童絵画展」(東大宮、七里、片柳)を開催
	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料231,159千円 (前年度233,877千円) ・自主事業収入1,074千円 (前年度1,592千円) ・その他収入1,690千円 (前年度1,804千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費116,942千円 (前年度118,146千円) ・事務費1,127千円 (前年度1,097千円) ・施設管理費116,863千円 (前年度119,848千円) ・事業費1,966千円 (前年度2,872千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・卓球台の高さが均等ではないとの要望を受け、部品を購入し対応した。(東大宮) ・まな板の漂白、包丁研ぎの要望を受け、漂白、研ぎを実施した。(七里) ・多目的ホールの照明が切れている所があるとの要望を受け、2月に5ヶ所をLED照明と入れ替えた。(片柳) ・ロビーが暗いとの要望を受け、今後LED球等への交換を検討する。(高鼻) ・その他、各館に寄せられた様々な意見・要望に対し、速やかにその内容を検討し、対応するよう努めた。
(8) その他	<p>地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	<p>各種講座及び展示会並びに救命講習等を開催したほか、コミセンまつりやコンサート等合計122事業を実施し、24,425名の参加を得た。</p> <p>また、地域交流を目的とした東大宮グループ5館連携事業「笑顔の輪写真展」、見沼区3館連携「児童絵画展」を開催した。さらに、市内17のコミュニティセンターと2つのプラザにおいて、地域支援の場の提供を目的とした「ぐるりパネル展～皆さんの活動をひろく広報しましょう～」を市民活動サポートセンターと共同開催した。</p>
コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業	<p>事業団ホームページや情報誌SaCLaの発行により、施設で実施する講座等を紹介するとともに、コミュニティセンターだよりを月1回発行し、情報提供に努めた。</p> <p>また、施設利用に関する案内以外にも積極的に対応するため、市民相談コーナーを設置し、問題解決のための情報を提供するとともに、関係機関の紹介を速やかに行った。</p>
施設の貸出	<p>予約システムの操作や操作性等の要望について市担当者に相談し、改善策を模索することにより、より快適な施設利用ができるように努めた。</p> <p>また、利用する施設以外のコミュニティ施設で申請・入金ができる「他館申請」サービスにおいては、全施設の合計で5,166件、6,056,260円を取り扱った。</p> <p>※大宮工房館については中規模修繕のため、8月1日から3月31日まで貸出し中止。</p>
施設の維持管理	<p>指定管理協定書の維持管理計画表に基づき、施設・設備等の保守点検や清掃を実施するとともに、適切な修繕を行い、安全かつ快適な環境整備に努めた。</p> <p>また、電気・水道・ガス等の省エネに取り組み、光熱水費の縮減を図りつつ、管理運営に必要な物品等について、できる限り再生品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。</p>
市施策事業との連携	<p>「さいたま市ジュニアソロコンテスト」は、さいたま市内在住・在学の小・中学生を対象に、音楽活動の成果を披露し、技術向上を図りながら表現する楽しさを味わい、音楽に親しむ機会の提供と若手アーティストの育成及び、市民の音楽鑑賞の充実を図ることを目的に開催した。予選はプラザイースト、プラザウエスト、宮原、浦和の各コミュニティセンターで開催し、参加者は555人と、昨年度を上回ることができた。</p>
利用者満足度調査	<p>利用者には、「職員の対応」・「施設・整備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。</p> <p>また、アンケート結果や改善内容については、市民に閲覧できるよう受付窓口に設置した。</p>

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

利用者が安心・安全、かつ快適にご利用いただけるよう、法令に基づく法定点検のほか、設備や備品等の適正な維持管理に努めた。また、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)を具体化した「コミュニティ振興プラン」に基づき、地域において学習できる環境及び市民・団体同士が交流を深めることができるような事業を実施した。

今後においては、地域の意見を取り入れながら適切な施設運営に努めるとともに、広報活動の強化を図り、利用者の増加に努めます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

① 市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進

- ・東大宮コミュニティセンターは、新規事業を多く開催し、利用促進に努めていた。
- ・七里コミュニティセンターは、他団体との共催事業を多く開催し、施設を盛り上げていた。
- ・片柳コミュニティセンターは、新規にロック系コンサートを開き、世代間交流に努めていた。
- ・高鼻コミュニティセンターは、大宮アルディージャと連携した事業を継続して開催し、立地を生かしていた。
- ・大宮工房館は、修繕で休館していたが、大きなトラブルなく運営できていた。

② 経費の削減

- ・空調の運用を中心に節電に努めていた。

③ 適正な管理運営の確保

- ・保守点検はおおむね計画どおりに実施されていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に管理運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実に努め、利用者の拡大を図るとともに、適切な施設の点検及び修繕を実施するよう指導していく。